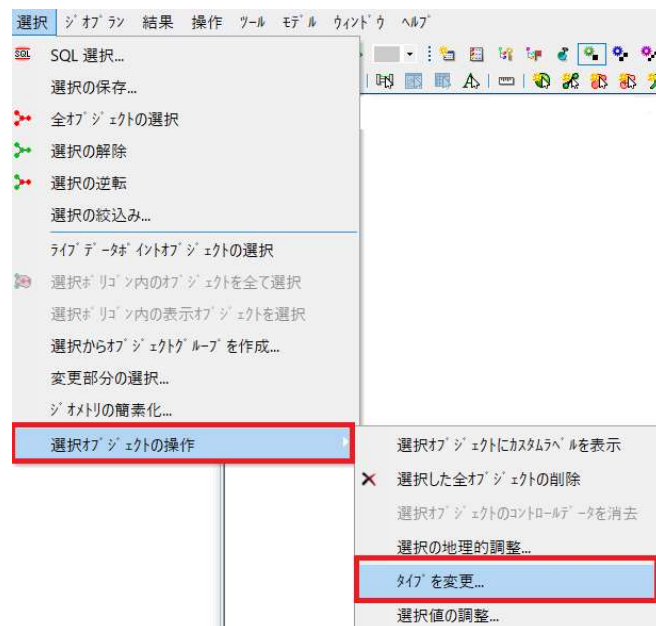


InfoWorks WS Pro の新機能リスト

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、InfoWorks WS Pro v4.5 に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

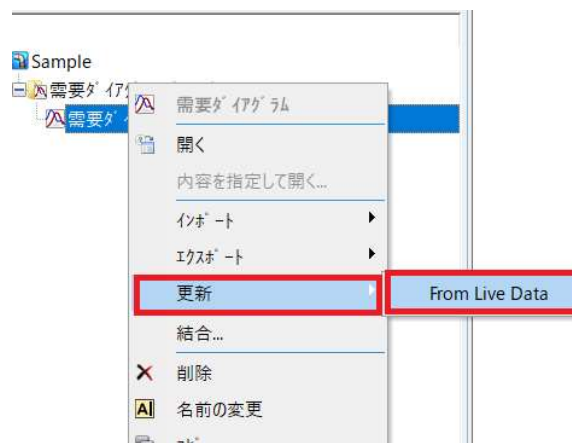
選択オブジェクトのタイプが変更可能に

複数のオブジェクトについてまとめてタイプを変更することが可能となりました。



ライブデータから需要ダイアグラムの更新が可能に

テレメトリから需要ダイアグラムを更新できるようになりました。これにより、InfoWorks WS Pro 内にてライブデータから需要データを更新可能となりました。ライブデータポイントの名前は、追加ボタンを使用すると、記憶されます。複数のライブデータポイントから直接需要パターンを新規作成したり、更新したりすることが可能です。また、需要ダイアグラムビュー内からライブデータポイントを設定することが可能となりました。

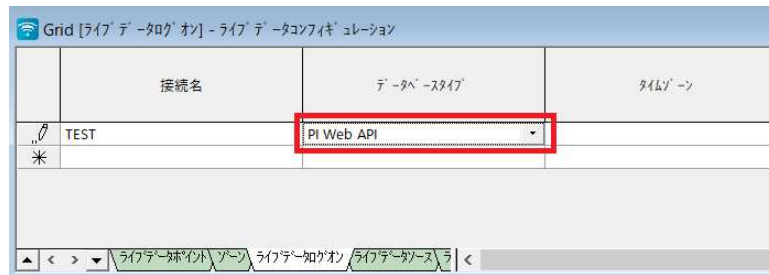


フラッシングワークブックが CSV ヘクスポート可能に

フラッシングスケジュールを CSV ヘクスポートすることが可能となりました。

PI WebAPI がサポートされるように

PI Web API 接続を使用してライブデータを取得できるようになりました。

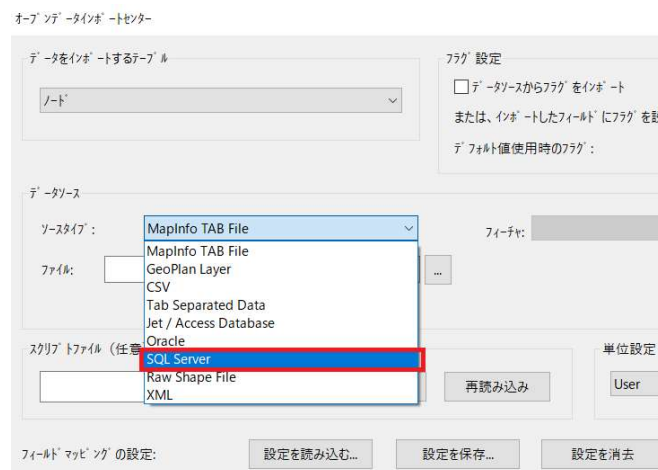


トレースノードが 10 から 30 へ増加に

孤立トレースに最大で 30 ノードまで含まれるようになりました。この数が超過される場合は、メッセージが表示されます。

ODIC にて SQL Server データベースがサポートされるように

オープンデータインポートセンターを使用して、SQL Server データベースから既存の、あるいは新規のネットワークへとデータをインポートすることが可能となりました。



サービスレベルレポートに表示名オプションが追加に

オブジェクトの名前として使用されるオブジェクト ID を選択することが可能となりました。